



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.1.31 No. 4134

貨物中長期計画粉碎へ向け 佐倉支部第十五回定期大会成功勝ち

佐倉支部第十五回定期大会は、一月二十七日十七時二十五分より佐倉支部において開催されました。

綿貫副支部長の開会あいさつ、山本執行委員の大会成立宣言のあと、議長に能勢氏を選出し、宮内支部長があいさつを行ないました。

その後、来賓として本部を代表して中野委員長、続いて勝浦市議選に立候補予定の水野正美、動労総連合委員長長の選挙にあたっての決意を受け、議事は進行しました。

活発な質疑の中で、①「六・三ダイ改」時、佐倉機関区の将来展望はどうなるのか？
②今年、退職者が出る中で、検査の要員が逼迫してくるが、どうなるのか。などなど真剣な

論議が交わされました。最後に、佐倉支部も、動労千葉の一支部として闘いぬくことと、同時に兵庫県南部地震のファンパを取り組むことを確認し、新役員を選出して、十九時三十分終了しました。

新役員体制

支部長	宮内正志	職士
副支部長	笠井清	同
書記長	田中龍美	輛務
執行委員	中台政幸	事務
	石川稔	運士

私たちは、この体制で今後一年間闘いぬいていきます。

ゼロアベア 攻撃を許すな

春闘見直しを強調する日経連

九五春闘について、日経連は一月一二日の臨時総会の中で、「賃上げの余地はない」と、定期昇給を除くベースアップを認めないとするなど、三年連続の「ベア・ゼロ方針」をより一層強め結論づけている。

「国内に残るべき産業が海外に押し出されている」、「企業の支払い能力に応じて差が出るのは当然」、「雇用も賃金もという姿勢を続けるのは困難」と、露骨に資本の論理を振り回している。ここには超低賃金でアジア民衆を踏み躪っていることにより立つ日本経済の基盤を、「産業の空洞化」などとすり替えると共に、規制緩和と政策の推進を提唱し、雇用にも、賃金にも手を付けると言うのである。

破壊される終身雇用・年功序列 「二〇〇〇万人失業」発言に見られるように、「年俸制・裁量労働制」の導入を画策しているように、日経連は戦後の労使関係を支えてきた、「終身雇用制」、「年功序列型賃金」をより一層破壊することを目指し、それを宣言している。

第七回家族会総会

日時 二月五日(日) 十三時より

場所 千葉市社会センター

各支部家族会の積極的参加をお願いします

動労千葉乗務員分科会第一七回定期委員会

日時 二月九日(木) 十時〜十七時

場所 千葉市市民会館

次期ダイ改闘争へ向け闘う方針の確立を!

昨年春闘の、三・一三%さえ上回る要素はないとする、九五春闘にこそ、大幅賃上げ獲得を高く掲げ闘うことこそが最も肝要なものと言える。

九五春闘に勝利しよう!